

2015（平成27）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号

学校法人大阪YMCA

資金収支計算書

2015年4月1日から
2016年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,039,800,000	1,059,734,897	△ 19,934,897
手数料収入	8,300,000	11,282,716	△ 2,982,716
寄付金収入	500,000	685,476	△ 185,476
補助金収入	124,500,000	157,348,205	△ 32,848,205
資産運用収入	6,300,000	11,154,699	△ 4,854,699
事業収入	375,400,000	380,417,637	△ 5,017,637
雑収入	0	1,499,768	△ 1,499,768
前受金収入	300,000,000	334,490,459	△ 34,490,459
長期借入金収入	0	100,000,000	△ 100,000,000
その他の収入	80,000,000	51,154,820	28,845,180
資金収入調整勘定	△ 312,000,000	△ 353,267,973	41,267,973
前年度繰越支払資金	311,678,919	311,678,919	0
収入の部合計	1,934,478,919	2,066,179,623	△ 131,700,704
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,080,400,000	1,101,312,468	△ 20,912,468
教育研究経費支出	315,100,000	316,097,425	△ 997,425
管理経費支出	115,970,000	133,511,288	△ 17,541,288
借入金等返済支出	0	19,442,757	△ 19,442,757
施設関係支出	40,000,000	4,158,000	35,842,000
設備関係支出	0	1,911,867	△ 1,911,867
その他の支出	73,000,000	104,813,618	△ 31,813,618
資金支出調整勘定	△ 110,000,000	△ 136,670,442	26,670,442
次年度繰越支払資金	420,008,919	521,602,642	△ 101,593,723
支出の部合計	1,934,478,919	2,066,179,623	△ 131,700,704

消費収支計算書

2015年 4月 1日から
2016年 3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,039,800,000	1,059,734,897	△ 19,934,897
手 数 料	8,300,000	11,282,716	△ 2,982,716
寄 付 金	500,000	685,476	△ 185,476
補 助 金	124,500,000	157,348,205	△ 32,848,205
資 産 運 用 収 入	6,300,000	11,154,699	△ 4,854,699
事 業 収 入	375,400,000	380,417,637	△ 5,017,637
雑 収 入	0	1,499,768	△ 1,499,768
帰 属 収 入 合 計	1,554,800,000	1,622,123,398	△ 67,323,398
基本金組入額合計	0	0	0
消費収入の部 合 計	1,554,800,000	1,622,123,398	△ 67,323,398
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,080,400,000	1,094,816,127	△ 14,416,127
教 育 研 究 経 費	414,560,000	416,365,255	△ 1,805,255
管 理 経 費	138,910,000	157,424,355	△ 18,514,355
借 入 金 等 利 息	0	1,116,757	△ 1,116,757
消費支出の部 合 計	1,633,870,000	1,669,722,494	△ 35,852,494
当年度消費支出超過額	79,070,000	47,599,096	

貸借対照表

2016年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,915,038,356	4,033,613,964	△ 118,575,608
(有形固定資産)	(3,598,009,778)	(3,715,309,375)	△ 117,299,597
(その他の固定資産)	(317,028,578)	(318,304,589)	△ 1,276,011
流動資産	574,981,437	379,512,168	195,469,269
資産の部合計	4,490,019,793	4,413,126,132	76,893,661
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	548,101,337	492,915,678	55,185,659
流動負債	482,714,041	413,406,943	69,307,098
負債の部合計	1,030,815,378	906,322,621	124,492,757
基本金の部			
基本金の部合計	7,032,725,246	7,032,725,246	0
消費収支差額の部			
消費収支差額の部合計	△ 3,573,520,831	△ 3,525,921,735	△ 47,599,096
負債の部, 基本金の部及び 消費収支差額の部合計	4,490,019,793	4,413,126,132	76,893,661

消費収支内訳表

2015年4月1日から
2016年3月31日まで

消費収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
学生生徒等納付金	0	231,910,752	235,221,784	222,982,795	369,619,566	1,059,734,897
手数料	0	1,852,000	1,823,222	3,010,422	4,597,072	11,282,716
寄 付 金	0	100,000	0	244,000	341,476	685,476
補 助 金	197,000	9,394,000	0	57,715,646	90,041,559	157,348,205
資産運用収入	46,966	0	3,157,210	3,353,654	4,596,869	11,154,699
事 業 収 入	4,057,125	21,335,700	190,347,743	0	164,677,069	380,417,637
雑 収 入	242,107	68,614	251,545	162,652	774,850	1,499,768
帰属収入合計	4,543,198	264,661,066	430,801,504	287,469,169	634,648,461	1,622,123,398
基本金組入額合計	0	0	0	0	0	0
消費収入の部合計	4,543,198	264,661,066	430,801,504	287,469,169	634,648,461	1,622,123,398

消費支出の部

(単位 円)

部 門 科 目	学校法人	大阪YMCA <small>インターナショナルスクール</small>	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高 校	大阪YMCA 国際専門学校	総 額
人 件 費	164,067,988	183,304,752	246,837,352	159,844,378	340,761,657	1,094,816,127
教育研究経費	0	60,227,298	82,667,949	83,607,115	189,862,893	416,365,255
管 理 経 費	48,039,143	13,586,033	20,551,304	34,742,091	40,505,784	157,424,355
借入金等利息	0	0	0	0	1,116,757	1,116,757
消費支出の部合計	212,107,131	257,118,083	350,056,605	278,193,584	572,247,091	1,669,722,494

資金収支内訳表

2015年4月1日から
2016年3月31日まで

収入の部

学校法人 大阪YMCA

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA 国際専門学校			総額
						専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	231,910,752	235,221,784	222,982,795	252,305,857	117,313,709	369,619,566	1,059,734,897
手数料収入		0	1,852,000	1,823,222	3,010,422	2,880,572	1,716,500	4,597,072	11,282,716
寄付金収入		0	100,000	0	244,000	0	341,476	341,476	685,476
補助金収入		197,000	9,394,000	0	57,715,646	7,473,440	82,568,119	90,041,559	157,348,205
資産運用収入		46,966	0	3,157,210	3,353,654	4,596,869	0	4,596,869	11,154,699
事業収入		4,057,125	21,335,700	190,347,743	0	123,962,277	40,714,792	164,677,069	380,417,637
雑収入		242,107	68,614	251,545	162,652	203,585	571,265	774,850	1,499,768
借入金等収入		100,000,000	0	0	0	0	0	0	100,000,000
計		104,543,198	264,661,066	430,801,504	287,469,169	391,422,600	243,225,861	634,648,461	1,722,123,398

支出の部

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA 国際専門学校			総額
						専門課程	高等課程	計	
人件費支出		141,690,281	181,164,732	262,183,232	180,219,338	210,595,930	125,458,955	336,054,885	1,101,312,468
教育研究経費支出		0	49,496,298	74,815,721	57,702,906	94,881,128	39,201,372	134,082,500	316,097,425
管理経費支出		47,895,643	13,504,833	18,304,804	19,498,124	18,886,508	15,421,376	34,307,884	133,511,288
借入金等返済支出		0	0	0	0	10,609,000	8,833,757	19,442,757	19,442,757
施設関係支出		0	4,158,000	0	0	0	0	0	4,158,000
設備関係支出		1,911,867	0	0	0	0	0	0	1,911,867
計		191,497,791	248,323,863	355,303,757	257,420,368	334,972,566	188,915,460	523,888,026	1,576,433,805

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2016年3月31日現在)
(単位 円)

I 資産総額		4,490,019,793
	内 1 基本財産	3,462,514,237
	2 運用財産	1,027,505,556
II 負債総額		1,030,815,378
III 正味財産		3,459,204,415
[1] 資産		
1 基本財産		
(1) 土地		
計		1,088,072,424
(2) 建物		
計		2,365,734,330
(3) 構築物		
計		1,788,703
(4) 図書		
計		2,358,071
(5) 教具・校具及び備品		
計		31
(6) 電話加入権		
計		4,560,678
2 運用財産		
(1) 預金・現金		
ア 預金		
計		515,661,891
イ 現金		
計		5,940,751
(2) 不動産		
ア 土地		
計		2,000,000
イ 建物		
計		118,569,604
ウ 建設仮勘定		
計		4,158,000
(3) 教具・校具及び備品		
計		15,328,615
(4) ソフトウェア		
計		10,142,167
(5) 敷金等		
計		705,890
(6) 未収入金		
計		37,933,402
(7) 前払金		
計		15,445,393
(8) 貸付金		
計		301,599,843
(9) その他		
計		20,000
[2] 負債		
1 固定負債		
(イ) 長期借入金		145,882,000
(ロ) 退職給与引当金		401,944,337
(ハ) 預り敷金		275,000
計		548,101,337
2 流動負債		
(イ) 短期借入金		19,992,000
(ロ) 前受金		334,652,459
(ハ) 未払金		82,831,636
(ニ) 預り金		45,237,946
計		482,714,041

平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA

学校法人大阪YMCA 平成27年度 事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) YMCA学院高等学校

通信制課程（単位制） 総合学科

(2) 大阪YMCA学院

総合日本語学科、実用日本語学科

(3) 大阪YMCA国際専門学校

外国語専門課程

英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース

進学日本語学科

ビジネス専門課程

国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程

国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育社会福祉専門課程

スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

幼稚部、初等部、中等部

2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

(1) YMCA学院高等学校

課程	学 科	学則定員
通信制課程（単位制）	総合学科	1,750

(2) 大阪YMCA学院

学 科	学則定員
総合日本語学科（1年コース）	40
総合日本語学科（1年半コース）	40
総合日本語学科（2年コース）	40
実用日本語学科（2年午前コース）	90
実用日本語学科（2年午後コース）	90
合 計	300

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	80
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス科Ⅱ部	200
小 計		200
合 計		1,005

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合 計	245

3 役員・教職員の人数（平成27年5月1日現在）

(1) 役員

理事 9人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専 任			非常勤 講師	任期制 助手	合 計
	教 員	助 手	計			
通信制課程	15	0	15	118	0	133

大阪YMCA学院

	専 任			非常勤 講師	任期制 助手	合 計
	教 員	助 手	計			
文化教養	6	0	6	44	0	50

大阪YMCA国際専門学校

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
ビジネス専門課程	2	0	2	17	0	19
国際高等課程	16	1	17	53	1	71
外国語専門課程	10	4	14	56	8	78
教育社会福祉専門課程	1	1	2	11	0	13
計	29	6	35	137	9	181

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専 任			非常勤 講 師	任期制 助 手	合 計
	教 員	助 手	計			
文化教養	17	4	21	2	1	4

(3) 職 員

区分	専任職員	兼務職員	合 計
YMCA学院高等学校	9	2	11
大阪YMCA学院	6	0	6
大阪YMCA国際専門学校	16	5	21
大阪YMCAインターナショナルスクール	8	2	10
合 計	39	9	48

2 事業の概要

1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISION（VISION2020）を10年単位で策定しています。

大阪YMCA VISION2020の願いは、

- 1) ネットワーク型福祉社会を実現する（＝人が繋がるあたたかな社会を作る）
 - 2) 未来に希望を持ちチェンジメーカーとなる青年を育む（＝社会をよりよく変えていく）
- の2つです。

とりわけ学校法人は、時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。また、グループ法人との連携を密にして、他法人を社会経験の場として利用しながら、学校法人の教育効果を高めています。

大阪YMCAの学校事業の目標は、1) **Global Leadership Development** 今後のグローバル社会の進展をかんがみて、その推進者となりえる青少年を育成する。2) **Youth Development** 不登校や発達障害児童など、課題を抱えている青少年に対しての居場所として、彼らを受け止め、次のステージへと誘導していく。3) **Social Responsibility** 大阪Y他法人との対象領域別の連携を強化し、社会のニーズに対応したプログラム展開(子育て支援・シニア事業・多文化共生・放課後デイ・児童デイ・学童保育など)を推進する。以上の3分野を学校法人が力点を置いている分野として明確にすることにより、地域・保護者の理解を得ると同時に、教職員の働く上でのモチベーションの強化にもつながっています。

結果として、事業としては、各事業とも過去最高の生徒数を確保してきており、予算規模として大幅に伸長した1年でありました。

2 主な事業の目的・計画および進捗状況

- (1) 多様化してきている高校生に対して、合理的な配慮を行いながら、学校への定着を図り、卒業へと導いていく。

YMCA学院高等学校は、比較的小となしくなっている生徒に対応した教育を行う必要を感じ、今までの自学自習のスタイルから「学びなおし」や丁寧な対応をする指導体制に変わってきています。マイスペックラス(個人のペースで学習できるクラス)の充実を図ると同時に、もっと生徒に丁寧にかかわるような指導方法に変更してきています。サークル活動など学校に来たくなるような仕掛けも多く行いました。

大阪YMCA国際専門学校高等課程は、国際学科と表現・コミュニケーション学科の一体的な運営を目指してガバナンスを一本化し、双方の特徴を活かしながらスケールメリットをいかす運営を行いました。また、同一法人にある学院高校との連携も密にし、出席日数が足りず留年しそうになった高等課程の生徒を学院高校にて受け止め、卒業まで導くことができました。

表現・コミュニケーション学科では、サポートクラス(発達障害の児童を対象とした、週一回の学習サポート及びソーシャルスキルトレーニングのクラス)や総合教育センターとの連携をさらに強め、個々の生徒への高いカウンセリング機能や指導体制を持ち、生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の整備をさらに進めました。

国際学科はカリキュラムや教員体制を大幅に見直し、生徒のケア等に対する体制を厚くし、構造的な改革を行ったことにより退学者を大幅に減らすことができました。また、YMCAの世界的なネットワークを利用し、世界につながる学校として、海外よりインターンの受入やデンマークをはじめとした海外研修を実施しました。日本国内においても六甲山YMCAで12カ国100名のユースが参加したグローバルユースカンファレンスを実施し、海外のユースと英語を通して社会問題等のディスカッションを行いました。

(2) 留学生の留学目的も多様化してきており、その目的に対応できるように、学校のカリキュラムを変化させ、留学生の満足度をあげていく

留学生を受入れている大阪YMCA国際専門学校語学・ビジネス専門課程、日本語学科、大阪YMCA学院日本語学科は、「留学生事業部」として一体的な運営を行いました。

日本の円安の影響もあり、日本に留学する留学生の数は飛躍的に伸びてきています。また、自国にて大学卒業をした生徒が、日本での就職をもとめて留学してくるケースも増えてきました。

上町にあります大阪YMCA学院日本語学科の実用コースを非漢字圏の国の留学生を対象としたコースに変え、土佐堀にあります大阪YMCA国際専門学校日本語科を漢字圏を対象とした日本語教育を行うようにしました。結果として、来日前の日本語力に基づいた効果的な教育を行うことができました。また、非漢字圏の国からの留学生が増大しました。

大阪YMCA国際専門学校 語学・ビジネス専門課程では、職業実践専門課程としての認定を受け、産官学連携によるより充実した指導体制で学生支援に取り組んでおり、留学生の日本における就労支援を進めることができました。また、その一環として在阪の一流ホテルと協働して進めているホテルインターンシッププログラムは、日本人学生と共に東アジアの各国留学生の育成の場になっています。英米語専攻科や国際ビジネス科においては、教育内容のさらなる充実に向けて改善を進めています。

(3) 外国籍の児童や複数の国籍をもっている児童・生徒に対する教育および受入教育機関として役割を果たす。

語学事業は教育の質をより向上させるために取り組んでいる指導体制の強化、カリキュラム整備、指導方法の再整備が効果を上げています。

とりわけ大阪YMCA学院の日本語学科は、実用日本語クラスを中心に留学ビザ以外の家族滞在ビザ、配偶者ビザ、宗教ビザなどで在阪している外国人受講者のニーズに大きく応えることができました。留学生ではなく、在日の外国籍の方々の日本への定着のための日本語教育機関としての機能を果たしてきています。

インターナショナルスクールは、中津南小学校に移転し、施設環境が充実したことも影響し、児童数が増加しました。また、IBの認定も受け、インターナショナルスクールとしての評価が大きく伸張したことにより、各国の大使館・領事館からの問い合わせも増えてきました。専門学校高等課程国際学科とともに外国籍の児童・生徒、複数の国籍を持つ生徒、帰国子女等を対象とした教育機関としての役割も果たしてきています。

3 財務の概要

平成27年度決算の概要

① 【 資金収支計算書 】

(1) 収入の部

高校生事業の学院高校の在籍性の減少がありましたが、その他の高校生事業・留学生事業・国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校・大阪YMCA学院・大阪YMCAインターナショナルスクール）が過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を大幅に超える収入を確保することができました。

(2) 支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。国際・語学事業の幼児英語教育事業は、カリキュラムの充実とクラスの拡大にそなえて人的な増員を図りました。結果として予算を大きく上回る支出となりました。

② 【 消費収支計算書 】

(1) 消費収入の部

高校生事業の学院高校の在籍性の減少がありましたが、その他の高校生事業・留学生事業・国際・語学事業（大阪YMCA国際専門学校・大阪YMCA学院・大阪YMCAインターナショナルスクール）が過去最高の生徒・学生数を確保してきており、予算を大幅に超える収入を確保することができた。退職者の退職金の引き当て不足を想定し、市中の銀行から100,000,000円の借入を行いました。

(2) 消費支出の部

生徒数の増加に伴い支出も増額となりました。また、生徒数の増加に伴い教職員の数も増大してきており、人件費支出も大幅な増となっています。また、新たな借入に伴い借入金の返済を開始しました。

③ 【 貸借対照表 】

(1) 資産の部

固定資産の増減はあまりありませんでしたが、事業が好調なため流動資産が増額となりました。

(2) 負債の部

三菱東京UFJ銀行より退職者の退職金支払にともなう100,000,000円の長期借入を行いました。

(3) 基本金の部

基本金の移動はありませんでした。

(4) 消費収支差額の部

学院高校を除くすべてに事業が順調で収入が大幅に増加しましたが、事業拡大に伴う人件費支出も増加しているため、結果として当年度消費支出超過額は47,599,096円となりました。

4 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そして、公立高等学校の授業料無償化はその変化をより大きなものにしていきます。安定的な学校経営を行うために、教育内容をさらに充実させ、すべての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。

大阪YMCAは全体として広範囲な視点でVISION2020を策定し、時代と社会の課題の把握とそれらの解決に取り組むことに努めています。学校法人においても、社会全体とともに多様化する教育ニーズを把握し、そのニーズに対応するための変革に努めています。

中期計画では、グローバル人材を育成することを明確にして事業展開を行い、語学国際事業及び留学生事業に重点をおいた展開を行っています。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で600名を超える児童・生徒・学生が全日制の学校に在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・学生・生徒を支援する取り組みのより一層の充実が求められています。

とりわけ不登校や発達障がいのある児童・生徒の数は増大してきており、合理的配慮を含めた対応が求められてきております。多様化してきている学生・生徒・児童に寄り添いながら、個々の目的と性格に基づいた丁寧な対応が必要となってきました。

監査報告書

2016年5月16日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末岡 祥弘 殿

監事 萩原 義明

監事 水口 美里

監事 文学 文男

私たちは、学校法人大阪YMCAの2015年度（2015年4月1日より2016年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、

また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている

ものと認めます。

以上